

## 読谷村で開催「夏のわくわく研究所」で防災マップ作り ～読谷村教育委員会主催の夏休みイベントで小学生が地域防災マップを作成～

日本損害保険協会沖縄支部(委員長：大同火災海上保険株式会社 取締役常務執行役員 山里 武司)では、8月11日(日)に「心も体も健康で生活する為、学びにチャレンジする機会とすること、様々な体験等を通して子ども達の健全育成を目指すこと」を目的に開催された、読谷村教育委員会が主催「夏のわくわく研究所」の「地域の安全を確認 地域防災マップづくり講座」にて、講師およびマップ作製のコーディネーターとして、子どもたちや、その保護者の方々と地域防災マップを作成しました。

講座では、始めに日本損害保険沖縄支部山田事務局長代理から「ぼうさい探検隊の進め方」をテーマに簡単な講演があり、その後、同沖縄支部職員の赤嶺防災士がコーディネーターとなり、地域防災マップを作成しました。作成中には、「道路が大雨で通行止めになった。」という実体験や、ハザードマップを確認したうえで「津波からどのように避難すべきか。」などを小学校の校區別に考えました。

最後は、校区ごとのチームで、危険なところ・安全なところを中心に、発表いただきました。参加した、子ども達からは、「避難について、もっと知りたいと思った。」や「楽しかった。」という声が寄せられました。また、「今回の講座を機に、近所の方とより詳しく地域防災マップを作成することを考えたい。」という保護者の方の声もいただきました。

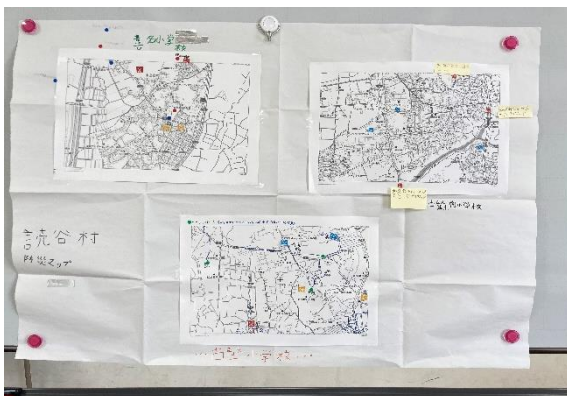
沖縄支部では、読谷村教育委員会をはじめとする、教育委員会や関係機関とともに、子どもたちの地域活動を推進しながら、地域の安全・安心向上に資する活動を実施して参ります。



マップ作成の様子



発表の様子



作製したマップ



講演の様子